

## 鶴ヶ島市監査委員告示第3号

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定に基づき、監査を実施したので同条第9項の規定により、その結果を次のとおり公表する。

令和6年2月14日

鶴ヶ島市監査委員 瀧 嶋 邦 夫

鶴ヶ島市監査委員 高 橋 剣 二

### 1 監査基準に準拠している旨

監査委員は、鶴ヶ島市監査基準（令和2年鶴ヶ島市監査委員告示第6号）に準拠して監査を行った。

### 2 監査の種類

行政監査（地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第2項の規定による監査）及び定例監査（同法同条第4項の規定による監査）

### 3 監査の対象

- （1）農業委員会事務局
- （2）議会事務局 議事課
- （3）教育部 学校給食センター

### 4 監査の着眼点

令和5年度（4月から11月まで）の財務に関する事務の執行及び事務事業の執行が法令に準拠し、適正かつ効率的に行われているか否かに主眼をおいた。

### 5 監査の主な実施内容

抽出により提出された監査資料を精査するとともに、所属長、関係職員から説明を聴取して監査を行った。

## 6 監査の実施場所及び日程

実施場所：鶴ヶ島市役所 庁議室

日程：令和6年1月17日

## 7 監査の結果

1 から 6 までの記載事項のとおり監査を行った結果は、次のとおりである。

今後も監査結果を踏まえ、良い点は引き続き継続し、改善すべき点は改善し、市民福祉の増進と地方自治の本旨の実現を図られるよう、適正かつ効率的な事務の執行に努められたい。

## (1) 農業委員会事務局

### ア 主要事務事業

令和5年度の主要な事務事業は以下のとおりである。

#### (ア) 農業委員会事務局事務経費

農地等の利用最適化の推進を図るほか、農業経営状況の調査の実施や、農業経営者の生活の安定のため、農業者年金加入を推進する経費。

農業経営状況の調査により、自作希望、貸し希望、売り希望などの農地面積を把握している。

現在の農業者年金加入者は3名である。

遊休農地の所有者に対しては、耕作予定等の確認を行う。また、農業経営者に対しては、農業者年金への加入促進啓発を行う。

#### (イ) 農業委員会運営経費

農地等の利用最適化の推進を図るため、農業委員会総会等の農業委員会活動を実施する経費。

令和5年11月末現在、農業委員会総会を9回開催し、33筆、

30,074㎡の農用地利用集積化が図られた。

今後も、農業委員会総会等の農業委員会活動の推進により、農用地利用集積化を促進していく。

### イ 評価・意見・要望

#### (ア) 歳入歳出予算の執行

適正に執行されているものと認められた。

#### (イ) 契約事務

適正に執行されているものと認められた。

#### (ウ) 現金等の取扱い

適正に執行されているものと認められた。

#### (エ) 備品等の財産管理

適正に執行されているものと認められた。

#### (オ) 文書の処理及び管理

適正に執行されているものと認められた。

## (2) 議会事務局 議事課

### ア 主要事務事業

令和5年度の主要な事務事業は以下のとおりである。

#### (ア) 議会運営経費

議員報酬、議員の期末手当、旅費、議会図書室の図書等の購入、会議録の調製、全国や関東等の市議会議長会の負担金等の議会運営に係る経費。

定例会を年4回（6月、9月、12月、3月）開催するほか、今年度は令和5年5月16日に臨時会を開催した。

今後も市民福祉の増進のため、二元代表制における議会の適正な運営に努める。

#### (イ) 政務活動費交付金

議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、会派（1人の場合を含む。）に対し、当該会派に所属する議員数に年額120,000円を乗じて得た額を政務活動費として交付している。

令和5年度の交付額は、1,980,000円である。年度終了後1か月以内に精算する。

今後も使途基準を遵守するとともに、透明性の確保に努めながら継続していく。

### イ 評価・意見・要望

#### (ア) 歳入歳出予算の執行

適正に執行されているものと認められた。

#### (イ) 契約事務

適正に執行されているものと認められた。

#### (ウ) 現金等の取扱い

適正に執行されているものと認められた。

#### (エ) 備品等の財産管理

適正に執行されているものと認められた。

#### (オ) 文書の処理及び管理

適正に執行されているものと認められた。

### (3) 教育部 学校給食センター

#### ア 主要事務事業

令和5年度の主要な事務事業は以下のとおりである。

##### (ア) 学校給食センター維持管理経費

P F I 方式による S P C（特別目的会社）に対する維持管理及び運營業務に係る委託料や、放射性物質検査用の消耗品、光熱水費及び職員の保菌検査、食品の各種検査（サルモネラ菌、大腸菌群、O-157）に要する経費。

S P C による維持管理及び運營業務は適正に執行されている。また、食品の各種検査の実施により、安全性の確保に努めている。

今後も引き続き、衛生管理、各種検査、維持管理及び運營業務のモニタリングを適正に行い、安心安全な給食の提供を図っていく。

##### (イ) 学校給食食材料経費

学校給食の調理に必要な食材料、主食、牛乳等を登録業者から購入する経費。

成長期に必要な栄養バランスに配慮した献立に沿って、食材の調達に努めている。物価高騰による給食費の値上がり分を、市が負担することにより、保護者負担額を軽減している。

今後も、保護者負担に配慮しつつ、歳入である学校給食費と学校給食食材料経費の乖離等、学校給食費に係る今後のあり方を検討していく。

#### イ 評価・意見・要望

##### (ア) 歳入歳出予算の執行

概ね適正に執行されているものと認められた。

##### (イ) 契約事務

適正に執行されているものと認められた。

##### (ウ) 現金等の取扱い

適正に執行されているものと認められた。

##### (エ) 備品等の財産管理

適正に執行されているものと認められた。

##### (オ) 文書の処理及び管理

適正に執行されているものと認められた。

##### (カ) 意見

学校給食費の賦課誤りをした事案があった。今後は適正な事務執行に努められたい。